



# 男性看護師に対する周囲の見方 および男性看護師間の連携に関する認識と実際

第44回日本看護学会学術集会（看護管理）発表



# 目的

2002年 看護師と名称変更

女性看護師

男性看護師

様々な分野での活躍や役割期待がされている。

男性看護師は  
依然として  
6%程度

少数であることから生じる  
「周囲の認識」「連携」における女性との状況の差異

## 目的

男性看護師に対する周囲の見方および男性看護師間の連携に関する認識とその実際を明らかにする。

# 方法

## 対象

全国の150床以上の病院で、複数（2診療科以上）の診療科を有する1,150施設の内、本研究に協力の得られた544施設に勤務する男性看護師（准看護師を含む）8,539名。

## 調査方法

平成24年12月～平成25年4月に無記名の選択式一部記述式の自記式質問紙調査を実施し回収は、回答者本人による郵送法とした。

## 分析方法

各項目（選択式回答）の無回答を除き、記述統計を行った。また、自由記述については、内容の類似性により分類した。

## 倫理的配慮

研究代表者が所属する施設の倫理審査会の承認を得て実施した。

# 結果 1 回答者の背景

## 回答者

3,713名 (回収率43.5%)

## 回答者の年齢と経験年数

平均年齢 33.2±7.8歳

平均臨床看護経験年数 9.54±7.4年目

## 配属先

最多、内科系病棟543名(14.6%)

次いで、混合病棟542名(14.6%)

## 回答者の勤務施設の所在地

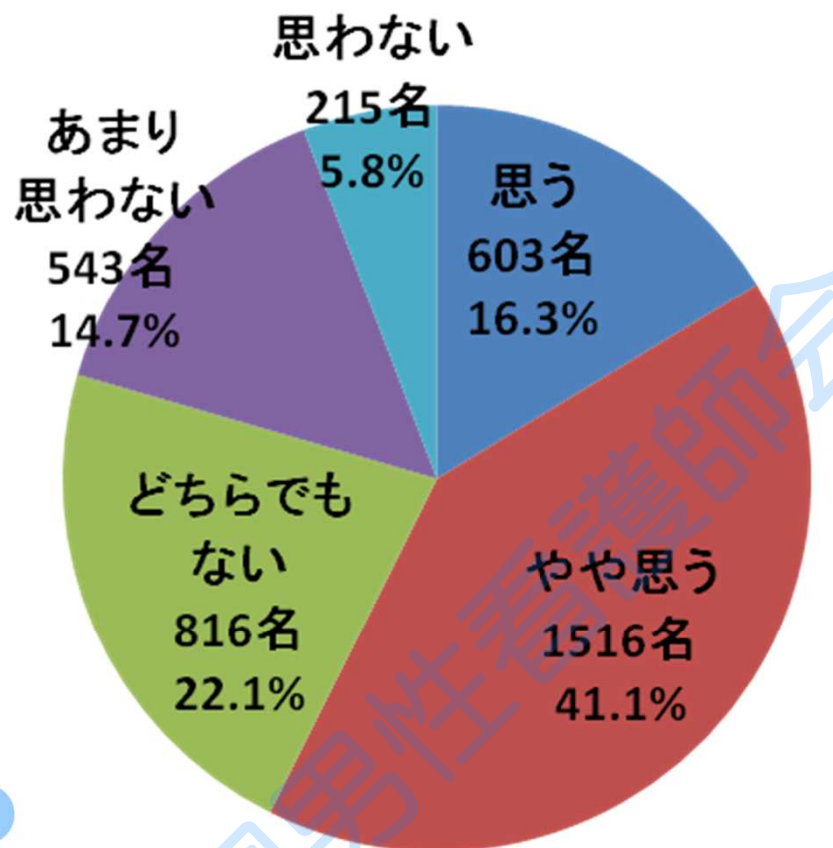
最多、関東919名(24.8%)、次いで中部785名(21.1%)

近畿617名(16.6%)、中国258名(6.9%)。

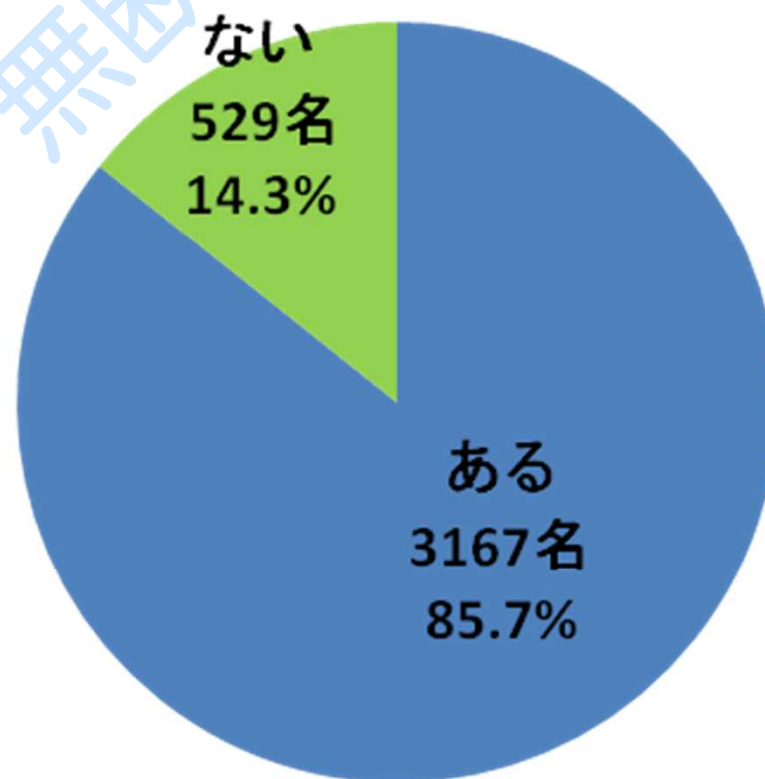
## 結果2

### 世間からの男性看護師の認知

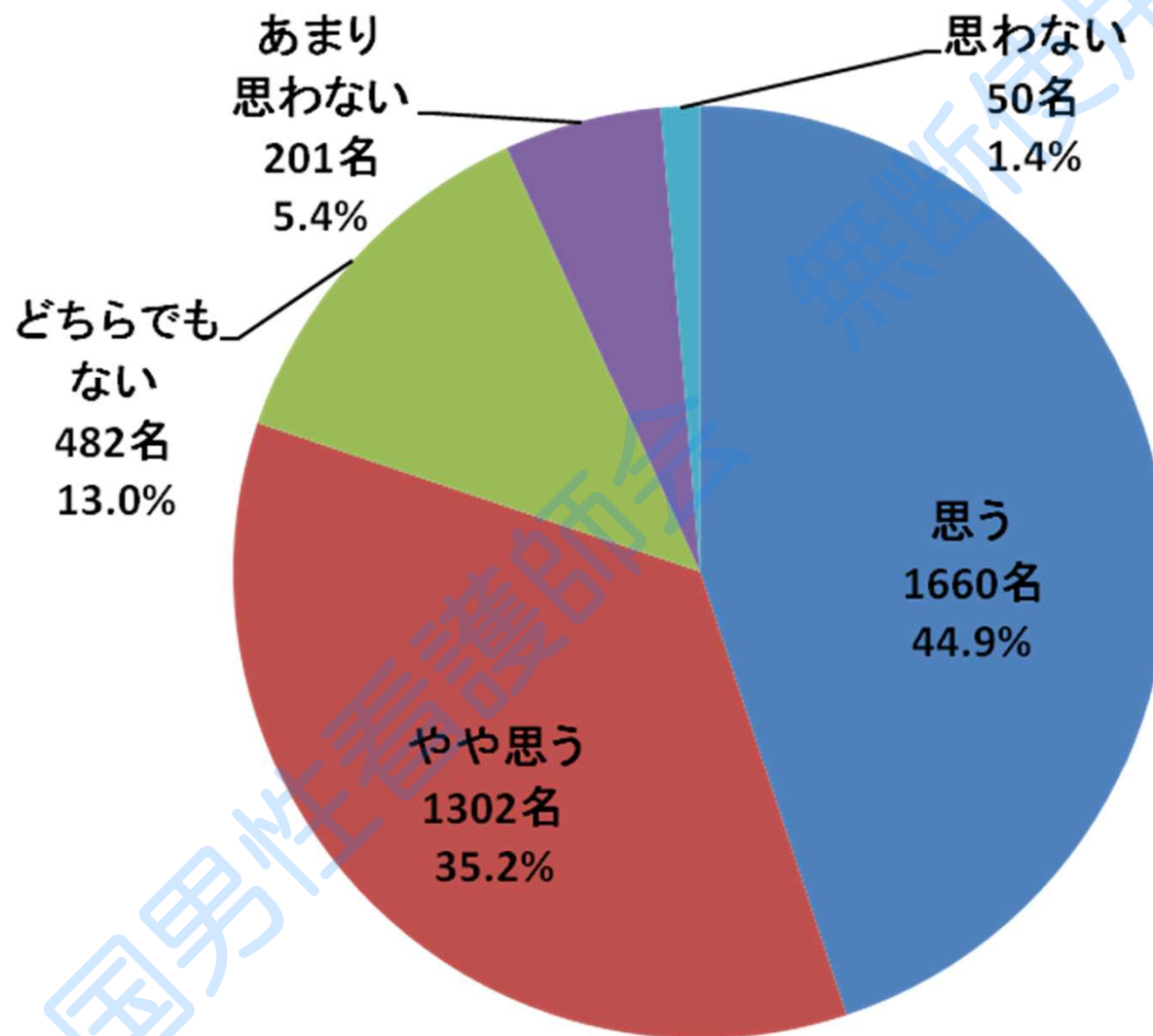
男性看護師の社会的知名度  
(高まってきているか?)



多職種の男性職員と  
間違えられた経験



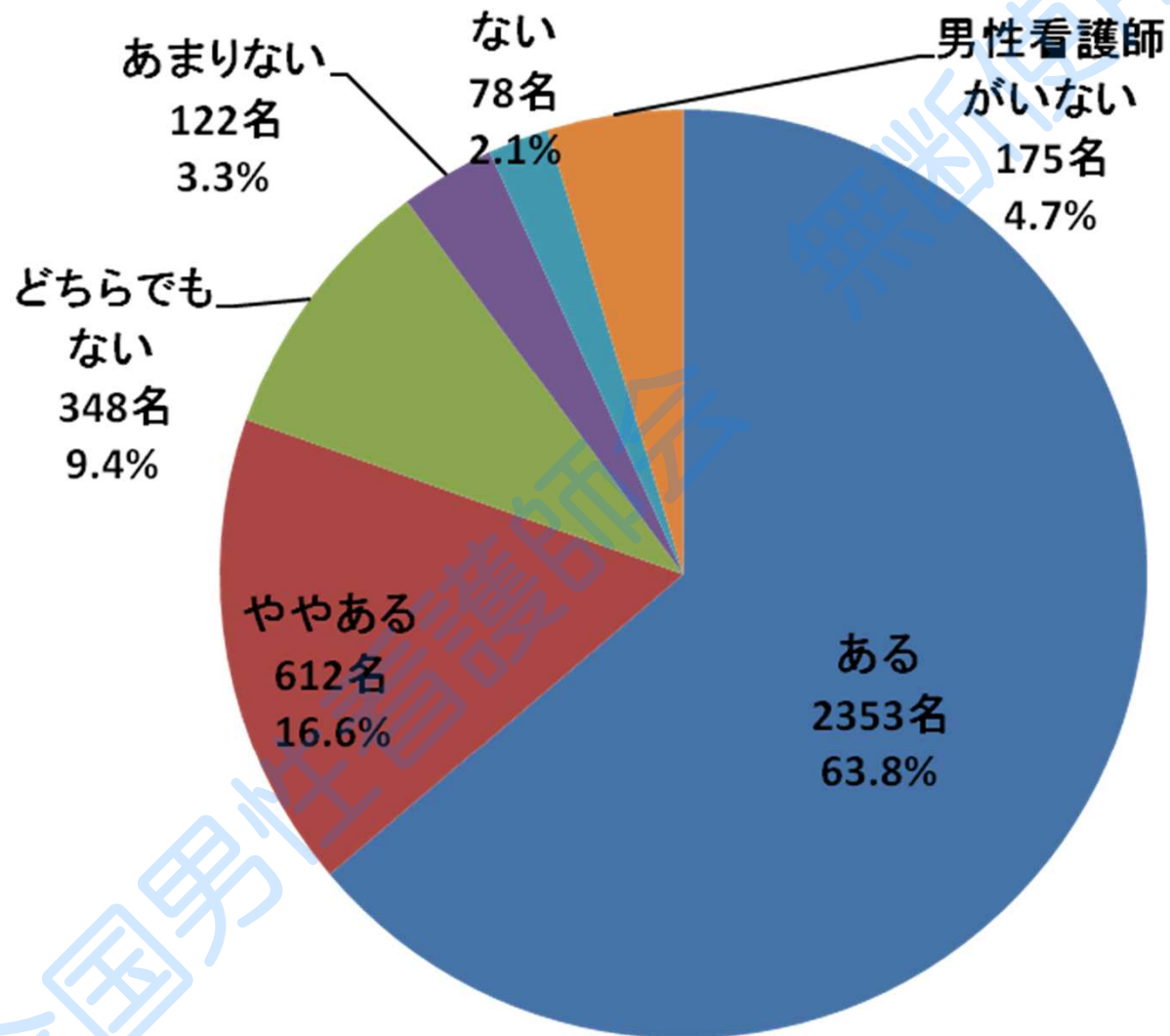
### 結果3 男性看護師は良くも悪くも目立つ存在



n=3695

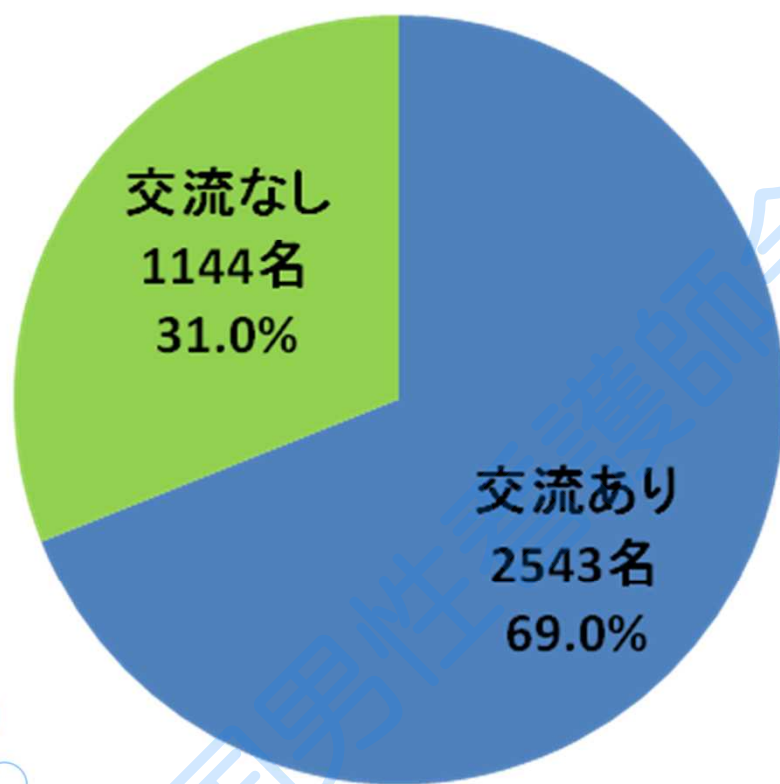
## 結果4

同じ病棟、病院に男性看護師がいる事での  
心強さや安心感



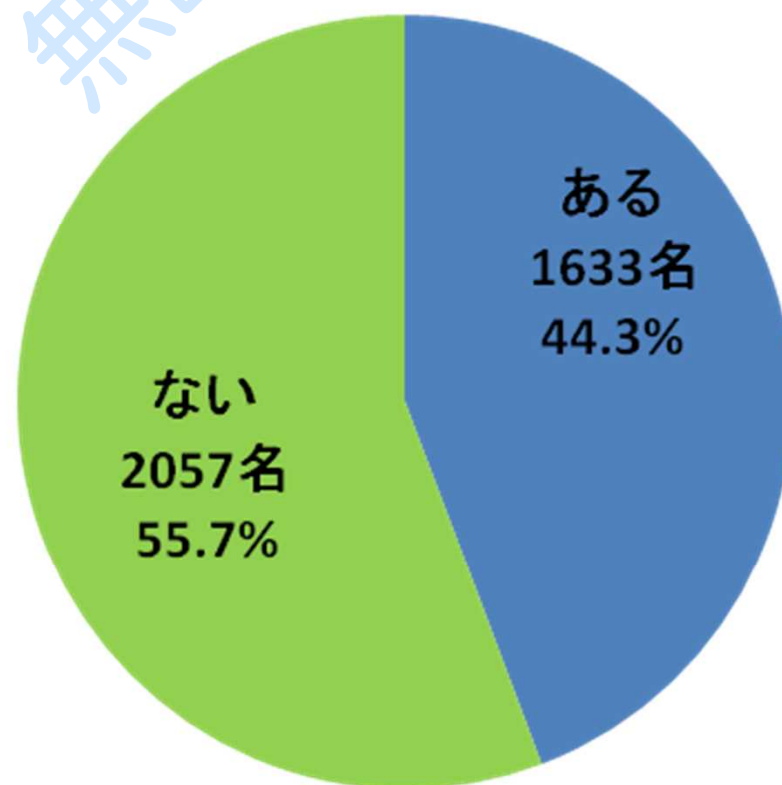
## 結果5 男性看護師同士の連携

院外の男性看護師との  
交流の有無



n=3690

院内における男性看護師間の  
集まりや組織の有無

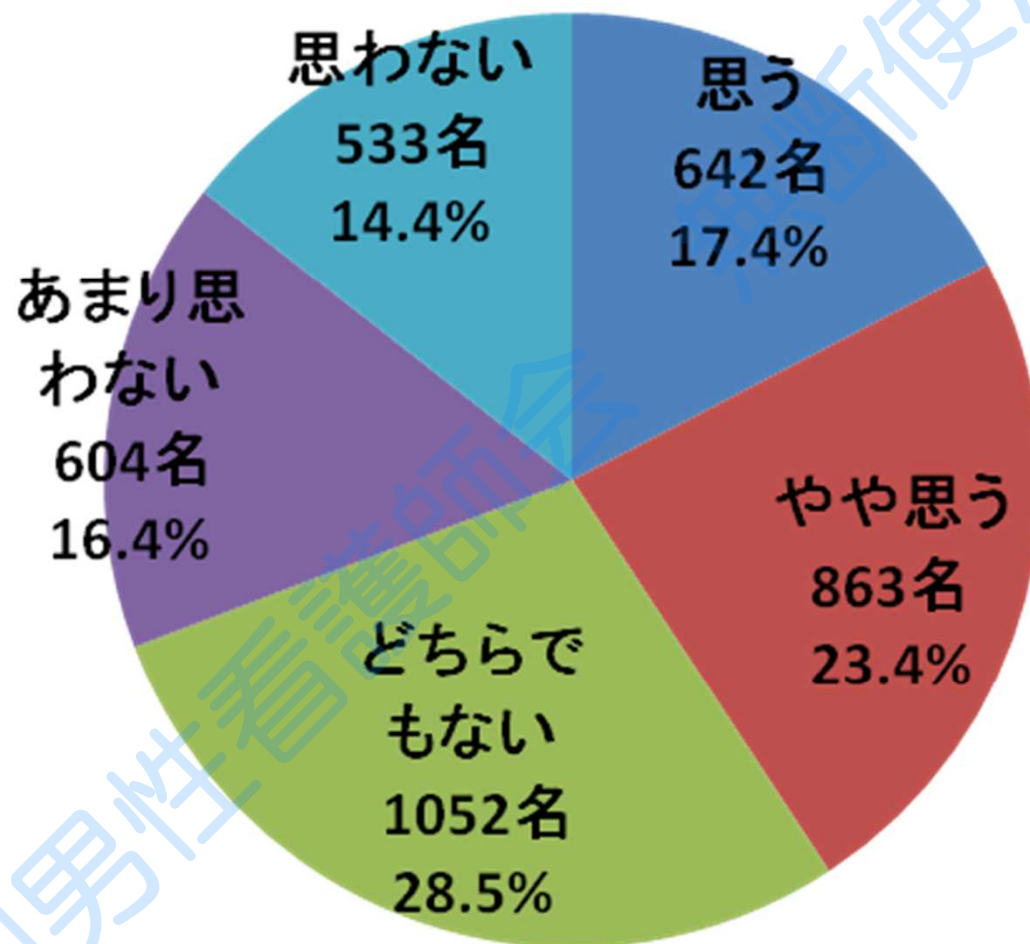


n=3690



## 結果 6

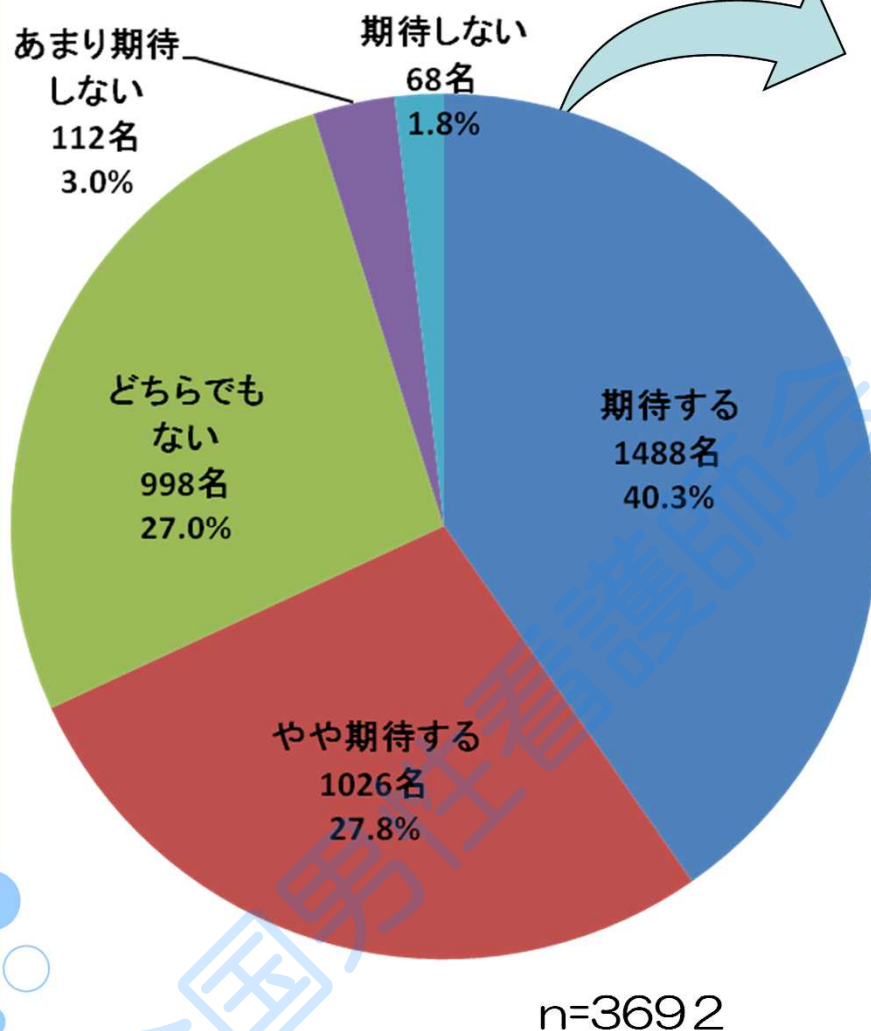
全国規模で男性看護師の団体の設立の必要性



n=3694

# 結果7

## 今後の男性看護師の増加



### 男性看護師の意見 一部抜粋

#### 肯定的な意見

- 病棟の雰囲気が変わると思う
- 働きやすくなると思う
- 男性看護師の地位向上のため
- 患者も両性おり、男性看護師だからできることもある
- 出産等による離職がなく、安定したスタッフの確保ができる

#### 否定的な意見

- 女性に向いている職場だと思う
- 増えても仕事内容は変わらない

# まとめ

